

新興国株式インデックスオープン

追加型投信／海外／株式／インデックス型

第8期末（2018年5月14日）	
基準価額	15,251円
純資産総額	774百万円
騰落率 (上昇率・下落率)	+12.8%
分配金合計	130円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

第8期（決算日：2018年5月14日）

作成対象期間

(2017年5月13日～2018年5月14日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、新興国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマークであるMSCI エマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行っております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

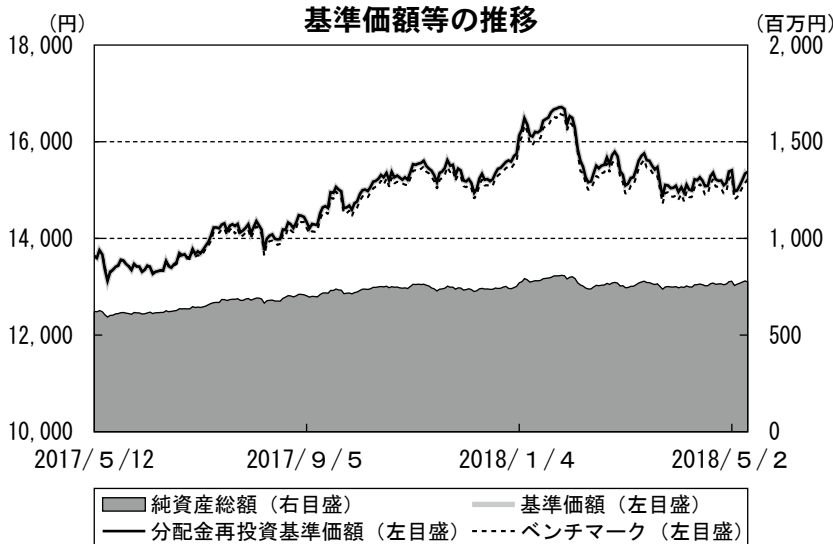
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第8期：2017/5/13～2018/5/14)

基準価額の動き	基準価額は期首に比べ12.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（11.7%）を1.1%上回りました。



第8期首：13,638円
 第8期末：15,251円
 （既払分配金 130円）
 騰落率：12.8%
 （分配金再投資ベース）

- ・ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
- ・ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- ・上記指数は、配当相当分を含まないインデックスです。このためファンドとベンチマークの騰落率との差異には、ベンチマークが配当相当分を含まない指数であることによって生じる「配当金要因」が含まれている点にご留意ください。

- ・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



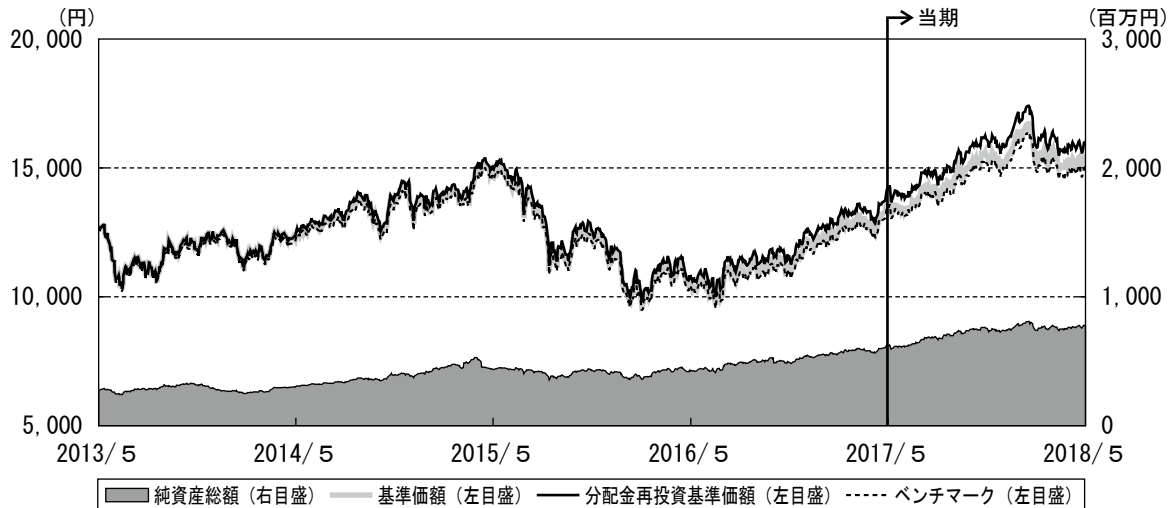
実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	原油価格の上昇や世界的な株式市況の上昇などを受けて新興国株式市況が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
------	---

最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年5月13日～2018年5月14日)



- ・分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2013年5月13日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2013/5/13 期初	2014/5/12 決算日	2015/5/12 決算日	2016/5/12 決算日	2017/5/12 決算日	2018/5/14 決算日
基準価額 (円)	12,667	12,218	14,751	10,424	13,638	15,251
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	140	130	130	110	130
分配金再投資基準価額騰落率	—	-2.4%	21.8%	-28.5%	31.9%	12.8%
ベンチマーク騰落率	—	-4.1%	21.2%	-29.7%	30.2%	11.7%
純資産総額 (百万円)	274	298	438	423	622	774

- ・ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (円換算ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

(第8期：2017/5/13～2018/5/14)

◎新興国株式市況

- ・原油価格の上昇や世界的な株式市況の上昇などを受けて、新興国株式市況は上昇しました。

◎為替市況

- ・為替市況は、期首に比べて4.8%の円高・香港ドル安、16.3%の円高・ブラジルリアル安となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

＜新興国株式インデックスオープン＞

- ・主として、新興国株式インデックスマザーファンド受益証券に投資しており、これを通じてベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行いました。
- ・資産のほぼ全額をマザーファンドに投資することで、株式（先物・不動産投資信託証券（REIT）を含む）の実質組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額（分配金再投資ベース）は、新興国株式市況とほぼ同様の推移となりました。

＜新興国株式インデックスマザーファンド＞

基準価額は期首に比べ14.0%の上昇となりました。

- ・MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）に採用されている新興国の株式等を主要投資対象とし、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行いました。
- ・株式の国別比率、業種別比率などがベンチマークとほぼ同様になるようにマルチファクターモデルを用いてポートフォリオを構築しました。

（注）マルチファクターモデル

株式市場の構造（動向）を、複数の要因（業種・通貨・企業規模など）に分類し、高度な統計手法を用いて説明をするモデル

当該投資信託のベンチマークとの差異について

i ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

＜新興国株式インデックスオープン＞
ベンチマークとのカイ離は1.1%程度となりました。

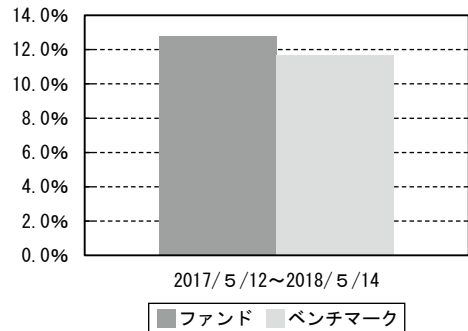
	マザーファンド 保有以外の要因	マザーファンド 保有による要因	合 計
ベンチマーク とのカイ離	△1.2%程度	2.3%程度	1.1%程度

(注) 四捨五入などにより各要因を合算した値と合計が一致しないことがあります。

◎マザーファンド保有以外の要因
ファンドの管理コスト等による影響は△1.2%程度でした。

◎マザーファンド保有による要因
マザーファンド保有による影響は2.3%程度でした。

基準価額（ハビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

＜新興国株式インデックスマザーファンド＞

ベンチマークは11.7%の上昇となったため、カイ離は2.3%程度となりました。

	組入比率 要 因	銘柄選択 要 因	コ ス ト 要 因	その他の 要 因	合 計
ベンチマーク とのカイ離	△0.1%程度	0.2%程度	△0.1%程度	2.3%程度	2.3%程度

(注) 四捨五入などにより各要因を合算した値と合計が一致しないことがあります。

◎組入比率要因
組入比率による影響は△0.1%程度でした。

- ・期中、ファンドの資産をほぼ全額株式（先物・REITを含む）に投資しました。
- ・効率的に運用を行うため、円貨、外貨現金などを若干保有しました。

◎銘柄選択要因
銘柄選択による影響は0.2%程度でした。

ファンドとベンチマークの値動きや、推定トラッキングエラー、株式の国別比率、業種別比率などについてモニターし、必要に応じて定量モデルを用いた調整を図ることでベンチマークとの連動性を高めるよう努めました。その際に、ファンドがベンチマークと連動する可能性をより高めるため、

- ・売買に係るコストを考慮しつつ、できる限り多くの銘柄に分散投資を行いました。
- ・ファンドの特性をよりベンチマークに近づけるべく、マルチファクターモデルを用いて組入銘柄とその組入比率を決定しています。

◎コスト要因

売買にかかるコストおよび保管料等による影響は△0.1%程度でした。

◎その他の要因

その他配当・利子収入等による影響は2.3%程度でした。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 （単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第8期
	2017年5月13日～2018年5月14日
当期分配金	130
（対基準価額比率）	0.845%
当期の収益	130
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,748

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

＜新興国株式インデックスオープン＞

- ・ ファンド資産のほぼ全額を新興国株式インデックスマザーファンド受益証券に投資し、株式の実質組入比率は高水準を維持します。

＜新興国株式インデックスマザーファンド＞

- ・ 引き続きファンドの資産のほぼ全額を株式（先物・REITを含む）に投資し、高い株式組入比率を維持します。
- ・ 売買に係るコストを考慮しつつ、多くの銘柄に分散投資を行います。

お知らせ

i 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/>→変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>) (2018年1月1日)

◎その他

- ・本資料内における旧シティ債券インデックスは、ブランド変更に伴い、FTSE債券インデックスの名称に変更しています。
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

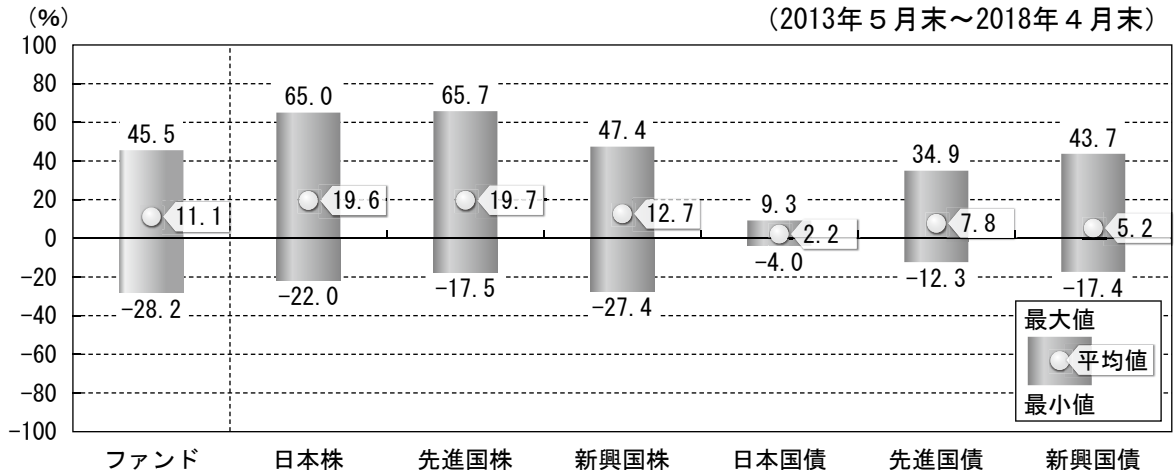
*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>)にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（2010年6月21日設定）	
運用方針	<p>新興国株式インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、新興国の株式等（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）に実質的な投資を行い、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>	
主要投資対象	当ファンド	新興国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、新興国の株式等に直接投資することがあります。
	新興国株式インデックスマザーファンド	新興国の株式等を主要投資対象とします。
運用方法	<p>新興国の株式等を実質的な主要投資対象とし、新興国の株式の指標であるMSCI エマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）と連動する投資成果をめざします。</p>	
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

i 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2013年5月から2018年4月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

- 日本株 : TOPIX (配当込み)
- 先進国株 : MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
- 新興国株 : MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
- 日本国債 : NOMURA-BPI (国債)
- 先進国債 : FTSE 世界国債インデックス (除く日本)
- 新興国債 : JPMORGAN GB I-EM グローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2018年5月14日現在)

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第8期末 2018年5月14日
新興国株式インデックスマザーファンド	99.9%

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第8期末 2018年5月14日
純資産総額	774,478,485円
受益権口数	507,828,794口
1万口当たり基準価額	15,251円

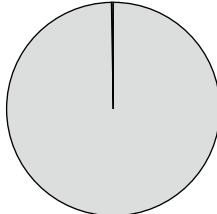
・当期中において
 追加設定元本は 192,455,752円
 同解約元本は 140,709,756円です。

種別構成等

【資産別配分】

コール・ローン等

0.1%

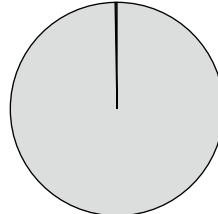


マザーファンド受益証券
99.9%

【国別配分】

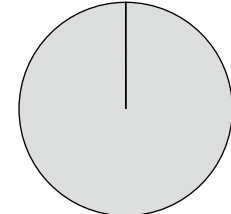
その他

0.1%



日本
99.9%

【通貨別配分】



円
100.0%

- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
- ・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

組入上位ファンドの概要

新興国株式インデックスマザーファンド

(2018年5月14日現在)

基準価額の推移



組入上位10銘柄

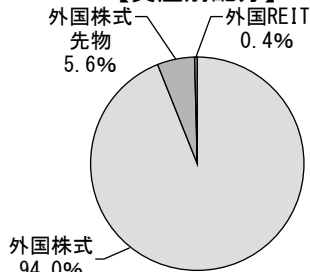
(組入銘柄数：839銘柄)

順位	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	TENCENT HOLDINGS LTD	株式	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	5.1%
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	株式	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.0%
3	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	株式	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	3.9%
4	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	株式	台湾	半導体・半導体製造装置	3.3%
5	NASPERS LTD-N SHS	株式	南アフリカ	メディア	2.0%
6	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	株式	中国	銀行	1.5%
7	BAIDU INC - SPON ADR	株式	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	1.3%
8	IND & COMM BK OF CHINA-H	株式	中国	銀行	1.1%
9	CHINA MOBILE LTD	株式	香港	電気通信サービス	1.0%
10	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	株式	中国	保険	0.9%

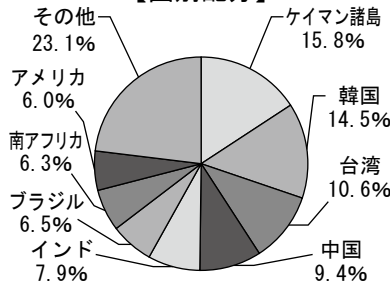
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・R E I Tを含めて表示しています。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

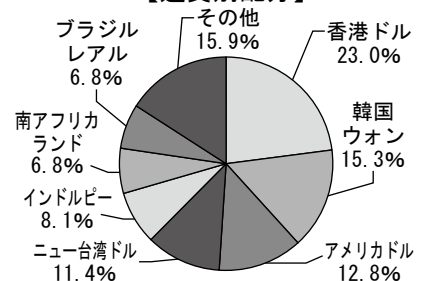
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含まず。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	10円	0.040%
(株式)	(8)	(0.032)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(2)	(0.007)
(b) 有価証券取引税	5	0.021
(株式)	(5)	(0.021)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	26	0.101
(保管費用)	(24)	(0.094)
(その他)	(2)	(0.008)
合計	41	0.162

期中の平均基準価額は、25,402円です。

(2017年5月13日～2018年5月14日)

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のもです。費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

指数に関して

○ファンドのベンチマークである『MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）』について

MSCI エマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（米ドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

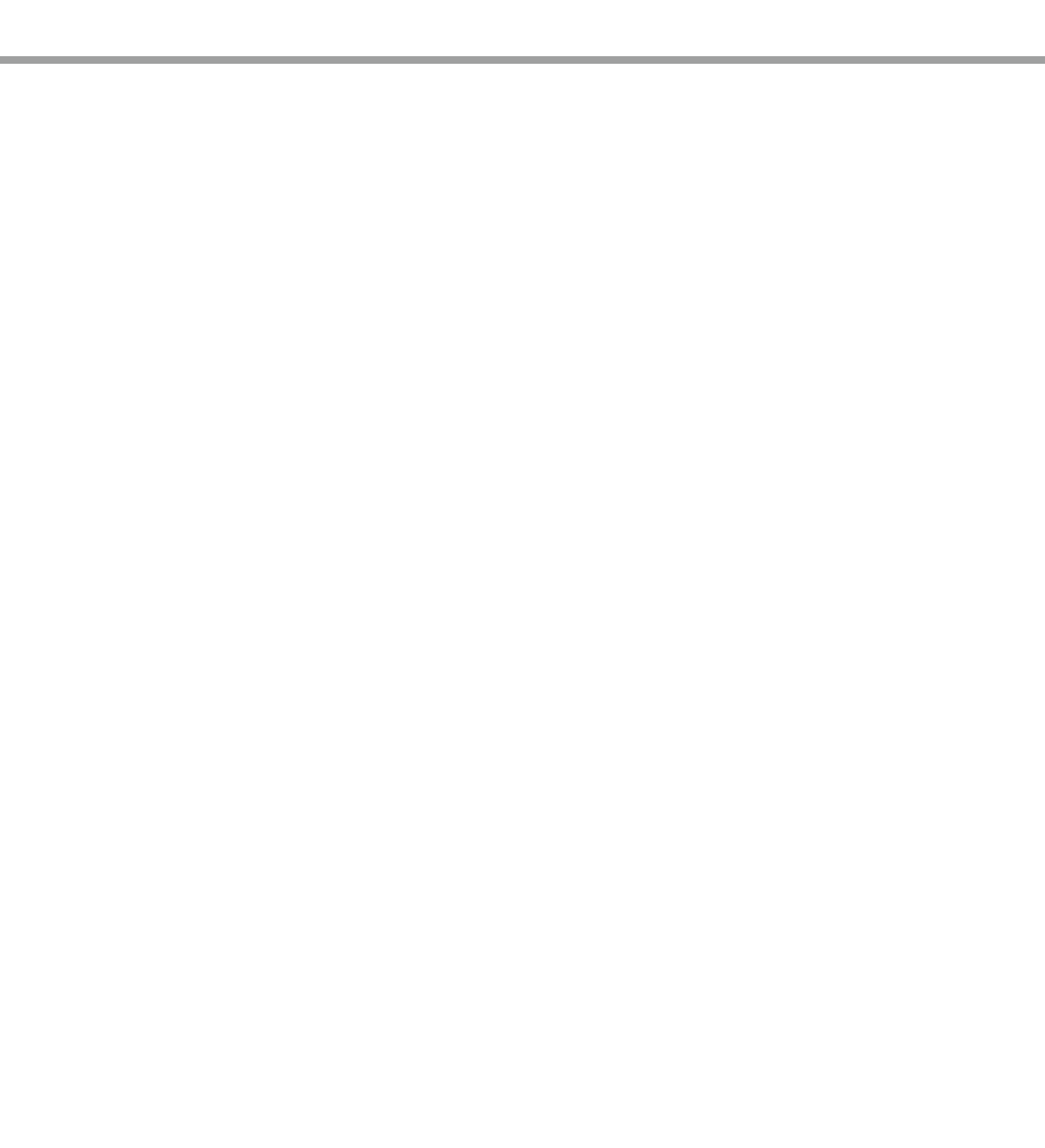
NOMURA-BPIとは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村証券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村証券株式会社は一切関係ありません。

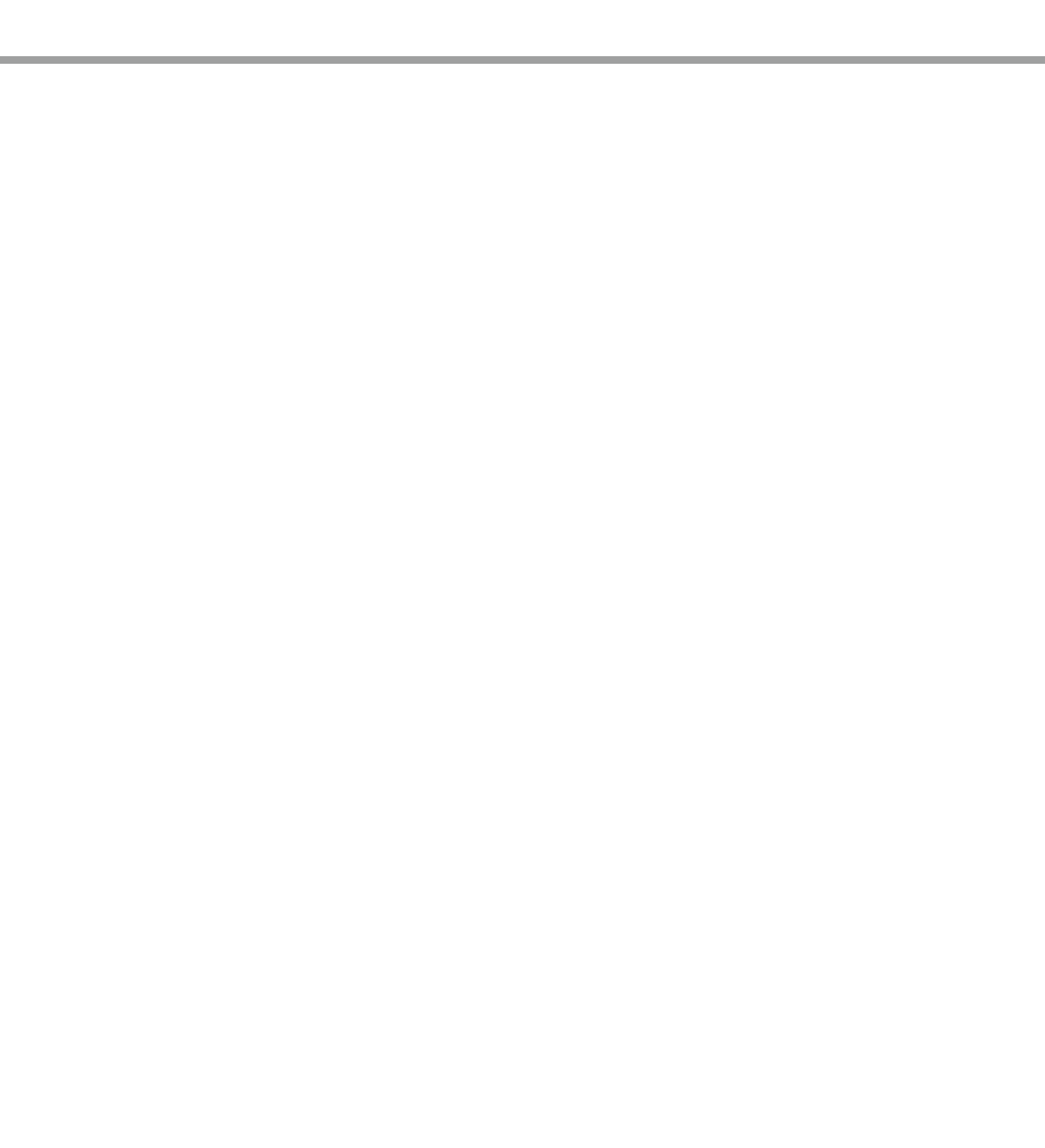
FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキリティーズ・エルエルシーに帰属します。







三菱UFJ国際投信